

## 前期日程

令和2年度入学試験問題

### 実技検査 [描写表現]

《木炭による石膏デッサン》

《鉛筆による石膏デッサン》

《水彩による静物着彩》

( 芸術地域デザイン学部 芸術表現コース )

#### － 解答上の注意事項 －

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 出願した画材で解答すること。
- 3 エスキースはこの問題冊子を利用すること。
- 4 解答用紙の縦横は自由とする。ただし受験番号欄が画面裏の下になるように使用すること。
- 5 問題冊子は持ち帰らないこと。

モチーフを描きなさい。

《水彩による静物着彩》の条件

※A3コピー紙はモチーフを置く台紙として使用すること。

※B3サイズ色紙は加工して使用すること。尚,その他のモチーフは加工しないこと。

※セロハンテープとはさみは色紙を加工する際に必要ならば使用してもよい。

(モチーフではない)

## 前期日程

令和2年度入学試験問題

# 実技検査 [発想表現]

( 芸術地域デザイン学部 芸術表現コース )

### － 解答上の注意事項 －

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 配布物は問題冊子、解答用紙、下書き用紙3枚である。
- 3 解答用紙は縦にし、受験番号欄が画面裏の下になるように使用すること。
- 4 持参した用具と与えられた色鉛筆、水性ペン、油性ペン等を使用すること。
- 5 問題冊子、下書き用紙と与えられた画材は持ち帰らないこと。

時間がある文字で区切ると様々な意味が生まれる。

仮に「地球誕生～現在」と区切ると、生命誕生の不思議さや生き物同士の連帯感を想起する。

「AM6:00～7:00」と朝の時間を区切ると、あわただしい日常や一個人と社会の境界などが思い起こされる。

上記の例のように任意の時間を設定しなさい。そして、そこで生まれる意味を発想の素材とし、プレゼンテーションボードを新聞一面の意見広告と見立てて自分の言いたいことを訴えなさい。

## 条件

1. キャッチコピーを入れること。
2. キャッチコピーの前または上に「～」と任意に時間を区切る言葉を記入すること。
3. キャッチコピーに続き、意見広告として自分の訴えかけたいことの説明や概要を読者に対する文章として100字程度で紙面に記入すること。
4. 時間を区切る文字の表記は、時代、年号、時・分・秒など時を表す単位や言葉であれば自由に選択してよい。
5. 画面は描きこんでも、漫画や絵コンテのようなラフスケッチでも構わない。写実的に上手に描かれているか否かは問わない。